

海外安全対策情報

1. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 警察当局が発表した2021年度第4四半期(2021年1月～3月)の犯罪発生件数報告によれば、総犯罪件数は40,295件であり、前年度の第4四半期と比較して7.8%の増となっています。犯罪種別の内訳は以下のとおり。

殺人	144件(前年比17.1%増)
強盗	496件(同8.3%減)
強姦	97件(同18.5%減)
未成年への性的暴行	357件(同0.6%減)
麻薬関係	125件(同5.3%減)
暴行	13,191件(同3.6%減)
窃盗	12,594件(同3.2%増)
恐喝	5,403件(同44.5%増)
詐欺	3,354件(同8.4%増)
器物破損	2,920件(同23.8%増)
傷害	982件(同24.3%増)
不法侵入	632件(同158.0%増)
合計	40,295件(同7.8%増)

2020年度第3四半期の報告と比較し、全体的に犯罪件数が増加しています。また、今回の統計結果によると犯罪件数の合計が前年同期比7.8%増という結果となりました。2020年度第1～3四半期においては、新型コロナウイルスの影響もあり、全体数が減少していましたが、再び増加傾向にあると考えられます。不法侵入及び恐喝、殺人などが増加しており、今後、治安状況が悪化する可能性が十分に考えられますので、皆様におかれましては、外務省海外安全ホームページの「安全対策基礎データ」、「安全の手引き」を参考に防犯対策並びに細心の注意を払ってください。

(2) 一般犯罪(邦人被害)

なし

(3) 凶悪犯罪(外国人被害)

・1月31日(日)、アメリカ大使館員の住居(一戸建て)への侵入事案が発生しました。犯人の国籍や性別は不明です。

住居1階の窓の鍵を外して侵入し、1万円相当の電子機器を持って逃げたとされています。住人は2階の鍵がかかった寝室で寝ており、常駐していた警備スタッフが気付いた時には、犯人は逃走済みであったとのことです。

・3月15日(月)、ガーナに駐在している韓国人2名が銃による強盗被害にあい負傷する事案が発生しました。アクラ-テマ間のMotorway付近の一般道を車で移動中、バイクに乗った2人組が、車両の前方にバイクを停止して進行を妨げた上で、散弾銃を1発発砲したとされ、これにより、後方座席に座っていた韓国人2名の肩に命中したとのことです。その後、2人組はバイクで車両後方に回り、散弾銃本体でトランクの窓を破壊し、現金及びパスポートを含む荷物を奪い逃走したとされています。韓国人2名の命に別状はありませんでした。

2. テロ・爆弾事件発生状況

当国における該当事件の発生は確認されておりません。

3. 誘拐・脅迫事件発生状況

当国における該当事件の発生は確認されておりません。

4. 対日感情

対日感情は基本的に良好であり、特段の変化は見られません。

5. 日本企業の安全に係わる諸問題

当国において日系企業が脅迫、破壊行為等の被害を受けた報告はありません。

以上